

2026年02月11日

第8回日本オープンイノベーション大賞『内閣総理大臣賞』受賞のご案内

第8回日本オープンイノベーション大賞 表彰式(内閣府主催、2026年2月9日開催)において、マウスピース型人工喉頭「Voice Retriever®」の開発に関する取り組みが、最高賞である『内閣総理大臣賞』を受賞いたしました。

日本オープンイノベーション大賞は、組織の壁を越えて知識や技術、経営資源を組み合わせた新たな取り組み(オープンイノベーション)を推進し、そのロールモデルとして期待される先導性・独創性の高い取り組みを表彰する制度です。なかでも「内閣総理大臣賞」は、極めて顕著な取り組み等が認められる個人または団体に贈られる最高位の賞です。

このような栄誉ある賞を受賞できましたのは、製品を開発された株式会社東京医歯学総合研究所 代表取締役 山田大志先生の、患者様に対する真摯な想いと熱意の賜物です。また、山田先生の恩師である東京科学大学 戸原玄教授、株式会社東京医歯学総合研究所、富士システムズ株式会社をはじめとする多くの関係者の皆様のアイデアとディスカッション、そして多大なるご協力により、まさにオープンイノベーションとして成し遂げることができました。

今後も、患者様にとってより使いやすい製品となるよう改良・開発を継続するとともに、さらなる認知度向上に向けた取り組みを進めるとともに、医療機器・介護福祉機器業界のさらなる発展に貢献してまいります。

■ 受賞内容 ■

一賞 名： 第8回日本オープンイノベーション大賞 内閣総理大臣賞

一取組名： 「もう一度、話す喜びを！」

－ ニッチだがアンメットニーズに対峙した臨床家のオープンイノベーションの挑戦

一応募機関： (株)東京医歯学総合研究所、東京科学大学、三洲電線(株)、富士システムズ(株)

一参考：

・内閣府 オープンイノベーション大賞特設ページ

<https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/2025.html>

・内閣府 オープンイノベーション大賞表彰式(写真で見る動き)

https://www.cao.go.jp/minister/2510_k_onoda/photo/2025_052.html

・政府広報オンライン 小野田大臣記者会見(令和8年2月10日)

https://www.gov-online.go.jp/press_conferences/minister_of_state/202602/video-307152.html

・株式会社東京医歯学総合研究所 PR Times

<https://prtims.jp/main/html/rd/p/000000003.000172400.html>

・当社 SNS(Facebook)

<https://www.facebook.com/sanshudensen60th/>

・株式会社東京医歯学総合研究所様、マウスピース型人工喉頭「Voice Retriever®」の詳細

<https://tokyomdlabo.com/>



(株)東京医歯学総合研究所 代表取締役 山田 大志、国立大学法人東京科学大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原 玄、三洲電線(株) 医療機器開発プロジェクト、富士システムズ(株) 営業第二部 一課

大学の知と企業の技術が声の自由を取り戻し、未来を切り拓く

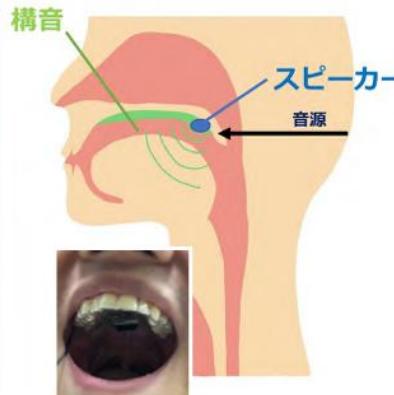
【目的】 喉頭癌に伴う喉頭・声帯摘出手術などにより、発声能力を失った方が再び声を取り戻すには、従来手法(電気式人工喉頭、シャント発声、食道発声)が適応外な場合もあり、また適応でも音質や習得の困難さなどの障壁がある。この障壁の解消を目的とする。

【内容】 大学・大学発スタートアップ・民間企業群(電機、電線、医療機器)が連携し、口腔内の動きのみで発声が可能となるマウスピース型人工喉頭「Voice Retriever」を開発。口唇・舌が動き、マウスピースさえ装着できれば、装着初日から会話が可能。

【効果】 2025年7月時点の使用者は200人(試作品180人、製品20人)。2030年は2万人を想定。



「Voice Retriever」



審査員コメント

- 多様なステークホルダーが介在していること、及び研究者発想からデバイスを開発し、スタートアップとして製品をリリース、上市している点を評価
- グローバルニッチトップも目指すことができる有望なプロダクト



3

以 上